

富士川水系の河川水に係る調査結果(4月実施分)について

1. 調査結果の概要

○アクリルアミドモノマー

静岡県が実施した調査地点のうち3地点において定量下限値以上の値を検出しましたが、全ての地点で人や水生生物への影響を考慮した各種指標(4. 指標等)を下回っていました。

○SS(濁り)

環境基準が適用される富士川では全ての地点で環境基準値を下回っていました。

2. 調査結果一覧 : 別添1参照

3. 調査地点 : 別添2参照

4. 指標等 : 別添3参照

5. 今後の予定

引き続き、静岡県と協働、国土交通省と連携協力した富士川水系の河川水等に係る調査を実施します。

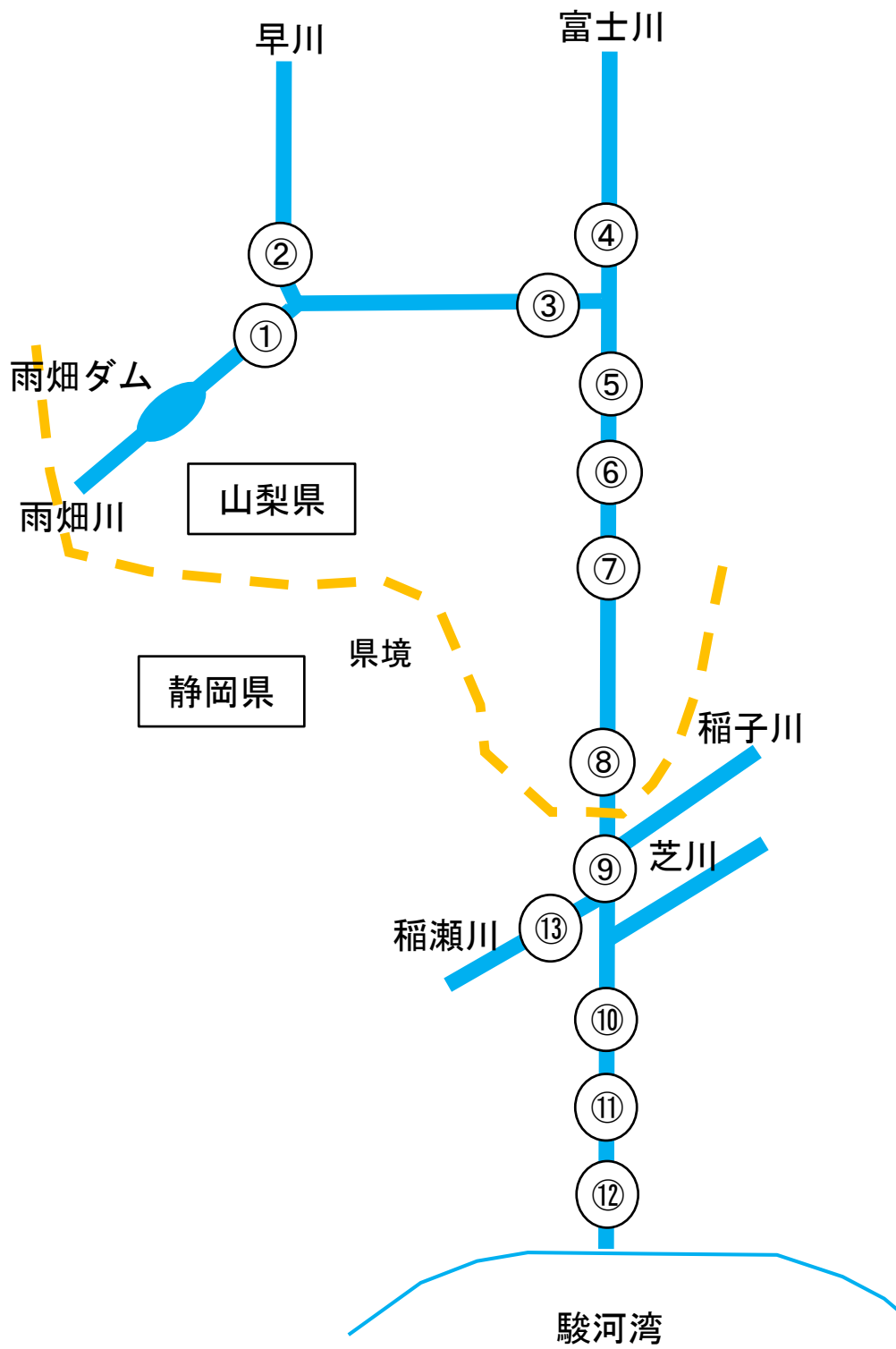
【調査結果一覧】

河川	地点	実施者	水質	
			アクリルアミド モノマー (ng/L)	SS※ (濁り) (mg/L)
雨畑川	①雨畑川流末	山梨県	—	54
早川	②中之島橋		—	3
	③早川橋		—	26
富士川	④飯富橋	国	—	10
	⑤富山橋付近		—	11
	⑥身延橋	山梨県	—	10
	⑦南部橋付近	国	—	9
	⑧県境	山梨県	—	5
	⑨内房橋付近	静岡県	<7.0	15
	⑩富原橋		84	3
	⑪富士川楽座付近		37	4
⑫富士川橋	38		3	
稲瀬川	⑬内房境川合流後		<7.0	1
地点数			5	13

※ 富士川の環境基準値は 25mg/L

注 “—” は実施無し。

【富士川水系の河川水等に係る調査地点】



【指標等】

- ア WHOの飲料水水質ガイドライン値 500ng/L
- イ 水道水の要検討項目※の目標値 500ng/L_厚生労働省
 ※毒性評価が定まらないことや、浄水中の存在量が不明等の理由から水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない項目
- ウ 水生生物への影響が表れないと予測される濃度※41,000ng/L_環境省
 ※魚類の急性毒性値より求めた、予測無影響濃度_「化学物質の環境リスク初期評価」(環境省)平成14年

エ 「平成19年度化学物質環境実態調査」(環境省)を元に山梨県作成

項目	検出数/地点	最大値	最低値	定量(検出)下限
水質 (ng/L)	13/48	49	n d	5.9 (2.3)
底質 (ng/g-dry)	40/64	1.9	n d	0.2 (0.079)

注：n dは検出下限値未満

オ 食品中の含有量_平成16~28年度農林水産省調査を元に山梨県作成

食品名	試料数	中央値 (ng/g)	最大値 (ng/g)
ポテトスナック	120	610	4,600
インスタントコーヒー	60	560	870
炒め野菜	180	23	620

注：日本では、食品に含まれているアクリルアミドモノマーについて、食品衛生法等に基づく基準値等は設けられていない。

※インスタントコーヒー(中央値)を1杯分(2g)に換算すると0.00000112g (=1,120ng)

カ 単位について

- ・1mg(ミリグラム) = 1000分の1グラム
- ・1 μ g(マイクログラム) = 100万分の1グラム
- ・1ng(ナノグラム) = 10億分の1グラム